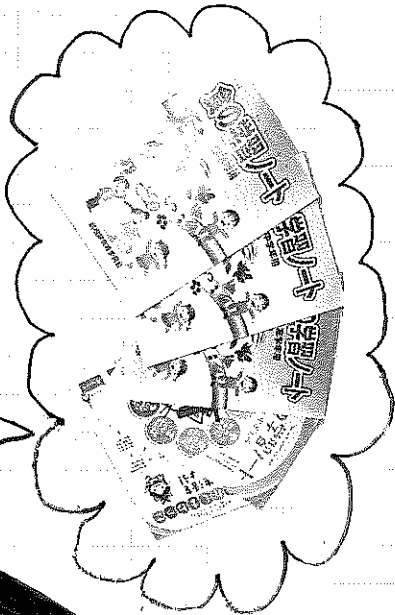


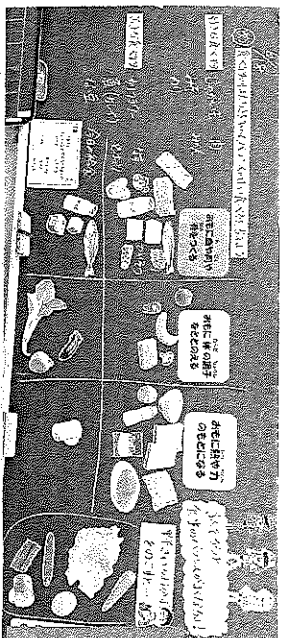
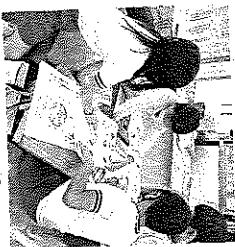
見て感じ食べてみよう。食に関する指導の様子を紹介しよう。

益田市では、学校と連携し、食に関する指導に力を入れています。学級活動や家庭科等の授業で担任の先生と栄養教諭または学校栄養士がチームテッチング(2人の役割分担をして指導をする)の授業を行うたり、各学校の給食時間、時間講習会に食に関するミニ指導をしたりしています。栄養教諭等は専門性を生かし、実物の食材を使う等、教材にも工夫を凝らしながら「食への意識」が高まるような指導ができるように心がけています。



例えば、このような内容の学習をします。
(6月に益田小学校の3年生、4年生で学習した時の様子です。)

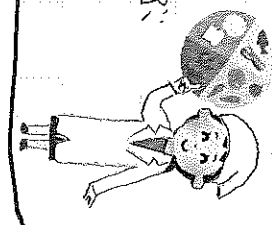
3年生は「バランスのよい食事」について学習しました。



食品の赤、黄、緑、青のグループに分けられることを学びました。(表面参照)

学習の最後には、グループで相談しながら料理カードを組み合わせ、赤・緑・黄の食品がそろった朝ごはんのメニューを考えました。

鳥取県が作成している「食の学習シート」を活用して学習も行っています。
小学生用、中学生用、高学年用、中学生用、高校生用があり、発達段階に応じて幅広くなっています。
こちらをご覧ください。



4年生は「益田産の食料(地産地消)」について学習しました。地元産の食料を食べるとおいしい、栄養豊富な食料になる、農家の人が喜んでくれる、様々な意見が出ました。

